

米に関するマンスリーレポート

簡易版

令和元年10月号

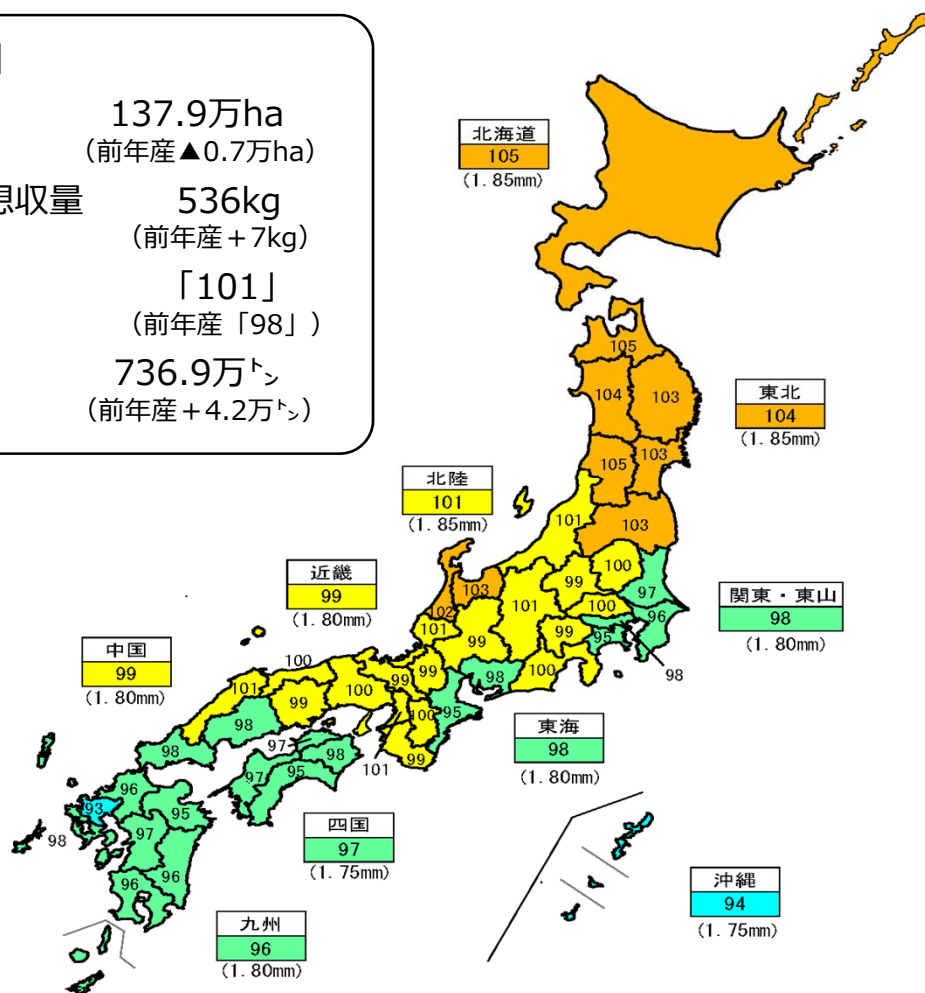
今月の
特集記事

「令和元年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況」及び
「令和元年産の水田における作付状況」

【9月15日現在の見込み】

- ・ 主食用作付見込面積 137.9万ha
(前年産▲0.7万ha)
- ・ 全国の10a 当たり予想収量 536kg
(前年産+7kg)
- ・ 全国の作況指数 「101」
(前年産「98」)
- ・ 予想収穫量（主食用） 736.9万ト
(前年産+4.2万ト)

作柄の良否（作況指数）	
やや良	(105～102)
平年並み	(101～99)
やや不良	(98～95)
不良	(94以下)

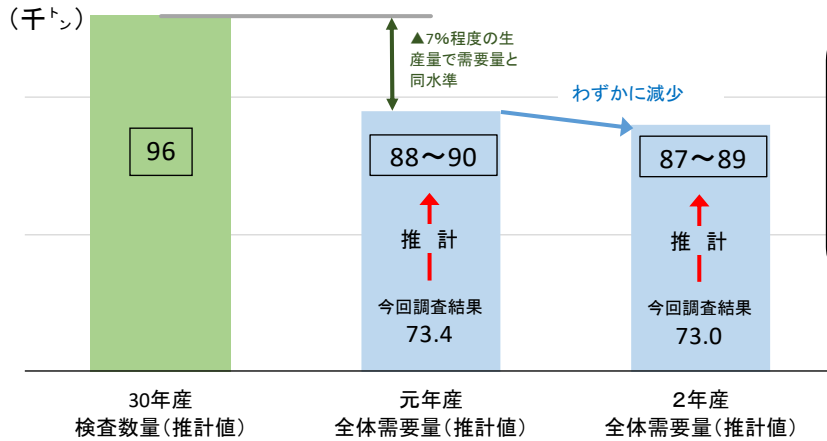


- ・ 戦略作物については、備蓄米の作付面積が増加する一方、加工用米及び飼料用米が減少。その他の戦略作物については総じて前年並みだよ。



マンレス解説員
よねちゃん

	主食用米	備蓄米	戦略作物								(万ha)
			加工用米	新規需要米				麦	大豆	その他	
				飼料用米	WCS (稲藁・粗飼料用)	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)				
H27年産	140.6	4.5	4.7	8.0	3.8	0.4	0.2	9.9	8.7	10.0	
H28年産	138.1	4.0	5.1	9.1	4.1	0.3	0.1	9.9	8.9	10.2	
H29年産	137.0	3.5	5.2	9.2	4.3	0.5	0.1	9.8	9.0	10.2	
H30年産	138.6	2.2	5.1	8.0	4.3	0.5	0.4	9.7	8.8	10.2	
R元年産	137.9	3.3	4.7	7.2	4.2	0.5	0.4	9.7	8.6	10.2	



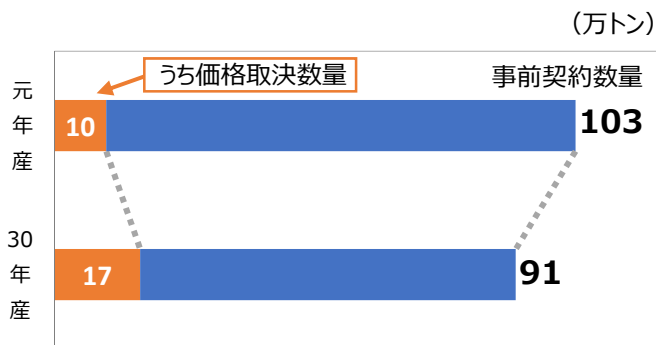
- ・ 令和2年産需要量は、令和元年産からわずかに減少の87~89千トン程度と推計されるよ。
- ・ 元年産の需給は生産量が平成30年産比▲7%程度であれば均衡すると見込まれるよ。



定期的な掲載情報（ダイジェスト版）

1 【事前契約数量 P.9~】

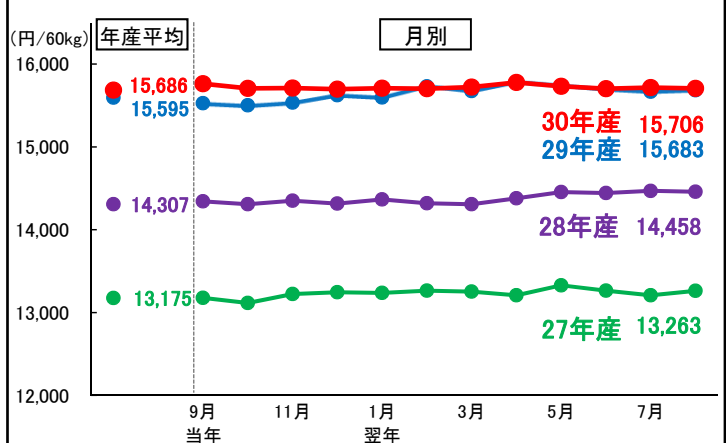
- ・ 令和元年産の事前契約数量は、対前年同月差+12万トンの103万トン



注 いずれの年産も生産年の8月末時点の数量（元年産は速報値）。

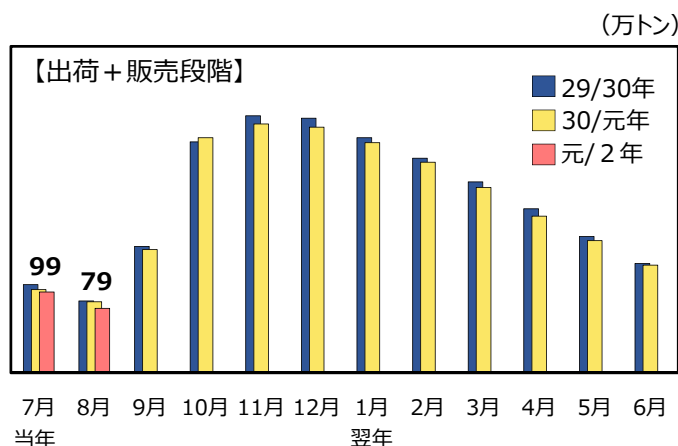
3 【相対取引価格 P.25~】

- ・ 元年8月の相対取引価格は、全銘柄平均15,706円、出回りからの年産平均価格は、前年産+91円の15,686円



2 【民間在庫の推移 P.14~】

- ・ 元年8月末の出荷及び販売段階における在庫は、対前年同月差▲8万トンの79万トン



4 【小売価格の推移（POSデータ） P.61】

- ・ 元年8月の小売価格（平均価格）は、対前月差+3円、対前年同月差▲29円の2,010円

